

Sentinel-1の台風19号豪雨前後画像から推定した浸水域（赤色の箇所が浸水推定域）

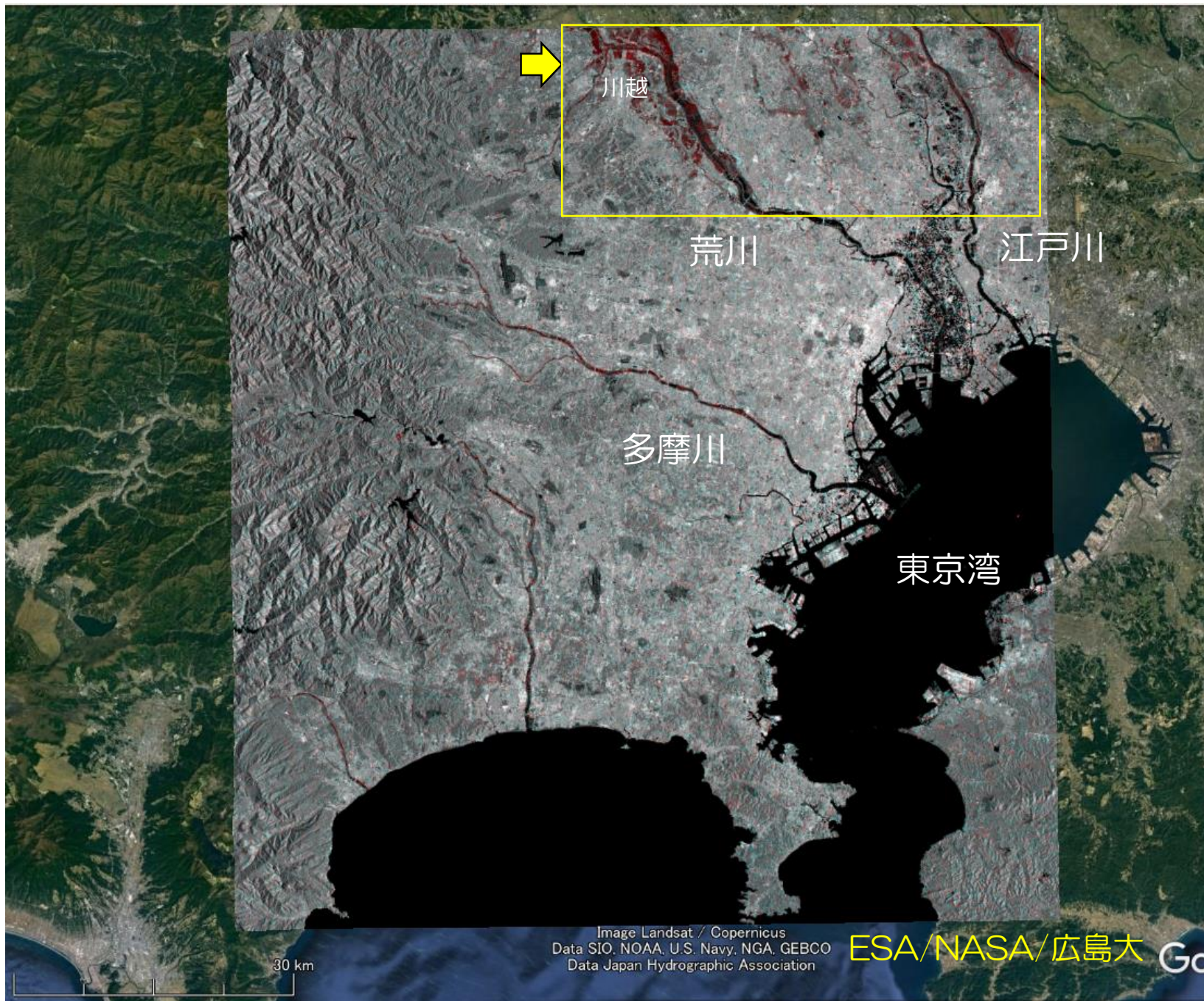


Image Landsat / Copernicus  
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO  
Data Japan Hydrographic Association

ESA/NASA/広島大 Go

## <使用データ>

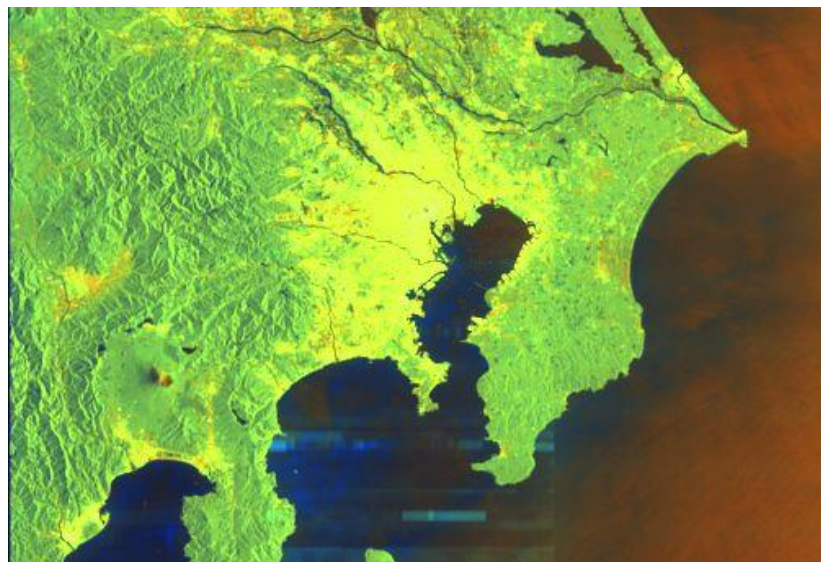
豪雨前：Sentinel-1A SAR VV 2019/10/6 AM5:44JST

豪雨後：Sentinel-1B SAR VV 2019/10/12 AM5:42JST

豪雨前



豪雨後



## <合成法>

R (赤) : 豪雨前, G (緑) : 豪雨後, B (青) : 豪雨後

## <データ元, 解析者>

元データ：ESA, NASA / Alaska Satellite Facility (ASF) (<https://search.asf.alaska.edu/>)









解析：作野裕司 (広島大学)

# 国土地理院「重ねるハザードマップ」より（赤色が洪水浸水想定区域）

## 洪水浸水想定区域（想定最大規模）

河川が氾濫した際に浸水が想定される区域と水深

### 凡例

	0.3m未満
	0.3~0.5m
	0.5~1.0m
	1.0~3.0m
	3.0~5.0m
	5.0~10.0m
	10.0~20.0m
	20.0m以上

### 注意点

このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

データの掲載状況一覧（国管理河川）

データの掲載状況一覧（都道府県管理河川）

データについて

